

213. ゲソQ

胡瓜が主役の「〇〇Q」についてはバリエーションが豊富であり、当「鮭のネタ・嘶のネタ」ページの編集・公開順の兼ね合いから、正確に何種あるとは、この段階で言えないが、2桁に届く（ツ抜け）のは間違いないところであろう。

「〇〇Q」が生まれた原点は、カップ巻である。昔は、よく口にした定番のカップ巻で



あるが、今の時代、それを求めて注文されるお客様は、ほとんどいらっしやらないのであろうし、何かの盛合せの中の一つの要素として絶滅することなく、そのポジションを担い続けているものと表現できる。また、自分自身もその美味しさは認めつつ、一方「物足りなさ」も十分認識している。そこで、胡瓜と何かのコラボにより、その存在感が希薄となった「カップ巻」を「〇〇Q」の形式を以って、より付加価値の高い逸品に昇華させようと企図したものである。実際、何種類も試作・試食を経て、「昇華」は証明された。

逆に、なぜ何種類も生まれたのかを考えると、それは、胡瓜の持つ「何にでも合わせられる柔軟さ・奥ゆかしさ・優しさ」がそうさせたのであろう。また、脇役ではなく、主役に持ち上げられるのは、当素材が持つ爽やかさや清々しさが所以となる。続く・・・